

5月3日は憲法施行 74 年目の憲法記念日でした。市内でも街頭宣伝行動を実施！



憲法施行 74 年目の憲法記念日。いつもは毎月9日に実施している「下北地域九条の会」主催の街頭宣伝行動を記念日に合わせて午後3時よりマエダ本店前で実施、会員を中心に 13 人が参加しました。

街宣行動では木下千代治共同代表、新婦人の会・吉田眞佐子事務局長、佐藤武むつ市議、年金者組合・吉田麟支部

長、むつ市平和委員会・柳谷睦夫会長がスピーチしました。各弁士は、わが国の憲法の3本の柱である国民主権、平和主義、基本的人権などの条項について、その大切さを強く訴えながら、市民と野党の共同で年内には確実に行われる総選挙で勝利し改憲をストップさせようと呼びかけました。

政治を行う者に憲法を守らせ、憲法を暮らしに生かそう！

賛同団体

新型コロナウイルスの扱いが、日本を含む全世界を驚かせています。世界中の人が健康で安穏な日常を取り戻せる日が一日も早く来んことを心から祈念します。

今日は74回目の憲法記念日です。不戦の誓いの憲法第9条は日本の宝、世界の宝です。戦後70余年、日本が海外で一度も戦争をしなかったのは9条のおかげです。

しかし、安倍前首相は集団的自衛権行使を容認する憲法解釈の閣議決定「安保法制」制定を強行するとともに自衛隊増強の多岐改憲を推進してきました。菅首相も「総裁として憲法改正に挑戦していきたい」と述べ、安倍氏同様9条改憲推進の態度を明らかにしました。

9条自衛隊明記は、不戦の誓いを捨て、祖国を「戦争できる国」に決定的に変えることです。私たちは絶対に容認できません。

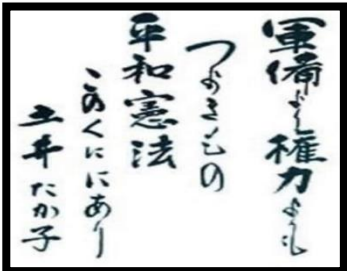
う、私たちはなすべきことは、政治を行う者に「国民主権・平和主義・基本的人権の尊重」の憲法の基本理念を守らせ、そして憲法を暮らしの隅に十分に生かす政治を実現することです。それが何よりも大事なことですと我々が訴えます。

賛同団体

5月3日付東奥日報紙へ掲載された憲法擁護の意見広告です。

668 名 122 団体から賛同をいただき掲載されました。出来れば来年は倍以上の結集で全面広告としたいものです。(今回は 1/3 程度の紙面でした)

当地域からも多くのみなさまからご協力をいただきました。ありがとうございました。



立憲民主党むつ下北支部暫定結成、正式結成へ向けて社民フォーラムしもきたと協議を開始！

立憲民主党青森県連が4月 18 日に開催した定期大会で各地域支部を設置することが確認され、4月 27 日には当むつ下北を含む「青森県第1区総支部」が結成されました。また、その傘下組織として「むつ下北支部」が暫定結成されました。

これを踏まえて5月 12、31 日に同組織3役と当フォーラム3役の間で今後の対応などについて意見交換会を開催しました。また升田世喜男第1区総支部長も参加しました。

意見交換会では今後、旧社民党からの合流党員を交えてあらためて役員補充や今後の活動方針の確定へ向けて6月 19 日(土)に正式な結成大会を開催することとしました。

当会としても従来の私たちの政治的スタンスを確保することや地域活動へも反映させるためにも新役員への参画や議案作りに関わることが重要であるとの判断から断続的に打ち合わせを継続して行くこととし、フォーラム3役で具体構想が確定した段階で全員集会を踏まえ

て結成総会へ臨むこととします。

《立憲民主党むつ下北支部暫定役員》

【支 部 長】能登勝彦(風間浦村議)

【副支部長】山本信悦(1区支部顧問)

【幹 事 長】杉浦弘樹(むつ市議)

(あいさつする升田世喜男第1区支部長)



むつ市で毎年5月3日に行われるは今年で73回目となりました。今年は冷たい雨が降る中、一般や高校生、中学生の計31チームが健脚を競い合いました。憲法記念を銘打つ駅伝大会は憲法公布当時は全国的に散見されましたが現在では当市以外は確認できませんでした。

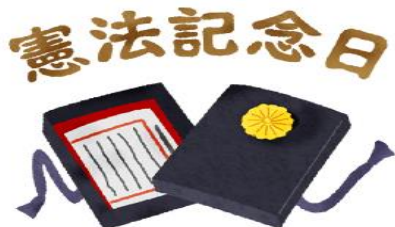
憲法記念下北駅伝競走大会は、戦前より大日本帝国海軍大湊要港部観桜会の一環として開催されていた駅伝大会が礎となっている。1948年5月5日、日本国憲法発布を祝して、「第1回下北駅伝競走大会」として復活した。当時の大会は、主要道であった宇田町三叉路から、現海上自衛隊大湊音楽隊による演奏先導にて入場行進を行い、大湊地方隊総監部前庭にて開会式が盛大に行われ、宇田～山田～田名部～山田～宇田～城

回大会から中断のない大会を強行開催した。このように、下北地方の春の一大風物詩となったこの大会は、「憲法駅伝」と呼ばれ、2007 年、第 60 回記念大会事業として、優勝旗3旗を新調することができるなど、市民より幅広く応援支持を得て定着している。2017 年は、記念すべき第 70 回大会を迎えることとなった。国内においては、憲法記念と冠した大会としては最も歴史がある大会といわれている。(むつ市陸上競技協会 HP より)

5月3日は、日本国憲法が施行された日なのですが、なぜ、公布日である11月3日が憲法記念日にならなかったのでしょうか？ その理由を紹介します。

憲法記念日は、日本国憲法の公布日である11月3日にする予定がありました。しかし、11月3日が明治天皇の誕生日だったことや、天皇と国民の関係性を薄めたかったGHQの反対により、施行日である5月3日に設定されることになったそうです。かつて11月3日は、「天長節」、のちに「明治節」として祝日となっていました。しかし、1947(昭和

この趣旨のもと、現在でも「文化の日」には芸術祭や文化勲章の授与、文化功労者の表彰などが行われています。半年間離れている「憲法記念日」と「文化の日」には、こうした歴史的繋がりがあつたのです。



2018 年9月、ジャーナリストの鎌田慧さんから電話で『沢田研二さんのコンサートがむつ市で開催される。ついては彼のメッセージソングを地元の憲法擁護や脱原発の活動者に聞いてほしいのでチケットを 100 枚程度進呈したいと彼の音楽事務所から連絡があったので送付したい。』と連絡がありました。公演日程が差し迫っていたため、慌てて知人や各グループに配分して進呈したことがありました。

沢田さんが自分の表現にプロテストの要素を入れ始めたのは、2008年に憲法9条への祈りを込めた「我が窮状(歌詞は右)」を発表したときからです。この時、沢田さんは60歳。あるインタビューで「結局何が一番大事なのかとなった時、売れる売れないはもう違う。、こんな年齢になったから、ちゃんと言っていかないと恥ずかしいよね。」と語っています。



作詞..沢田 研二, 作曲..大野 克夫

1. 麗しの国 日本に生まれ 誇りも感じているが

英霊の涙に変えて 授かった宝だ

我が窮状 守りきれたら 残す未来輝くよ

2. 麗しの国 日本の核が 齒車を狂わせたんだ

諦めは取り返せない 過ちを招くだけ

我が窮状 守れないなら 真の平和ありえない

(リフレイン)

(間奏)

この窮状 救えるのは静かに通る言葉
我が窮状 守りきりたい 許し合い 信じよう

身近な風景に学ぶ憲法 北海道・北見の高校が試み

新学期が始まって間もなく、北海道北見市の北見北斗高校 3 年の現代社会で憲法の学習が始まった。社会科の山崎辰也・主幹教諭が試みたのは、身近な日常をもとに憲法を考える授業だ。

まず、生徒たちに問いかけた。「憲法を守らなければならないのは、だれでしょうか」。配られたプリントには、国民、天皇、国会議員、裁判官と選択肢が四つある。「ちょっと聞きますよ。国民と思う人」。大半の生徒が手を挙げた。「実は、違うんです。なんでだと思う？ 答えを先にいうと、天皇、国会議員、裁判官です」。「えー」。意外そうな反応が生徒達から返ってきた。

山崎さんは、根拠となる条文として「憲法尊重擁護義務」を定めた 99 条を生徒に読み上げさせた。さらに続けた。「国家のために個人があるのか、個人のために国家があるのか、どっちだと思う？」、この問いには殆どどの生徒が「個人のために」手を挙げた。

「根っこにあるのは、『すべて国民は、個人として尊重される』と定めた 13 条です」。歴史を振り返ると、権力を握った者が自分たちの都合のいいように個人の自由や権利を奪

ったナチス・ドイツのような例がある。山崎さんは、国家権力に歯止めをかけるために憲法があることを説明した。

ここからが、「憲法を身近な風景を通して知る」試みだ。山崎さんは昨年、コロナ禍で休校になった期間に、北海道東部の地域を巡り、憲法学習の教材になりそうな場所を撮影した。それらの写真をモニター画面に映し出した。

最初は、別海町などにある陸上自衛隊矢野別(やうすべつ)演習場。演習場の中に民有地があり、平和資料館がある。国の土地買収に応じなかった地主の住居跡が、平和運動の歴史を伝える資料館として 2019 年にオープンした。個人の土地が守られる財産権を保障した 29 条や、平和主義を定めた 9 条にもかかわる風景だ。

次に見せたのは、釧路市の春採(はるとり)湖周辺の風景だ。狩猟や漁労をなりわいとしていたアイヌ民族が、明治政府の同化政策で農耕を強いられたが、与えられた土地は作物をつくるには不向きな傾斜地だった。日本国憲法ができる前の出来事だが、法の下での平等を定め、何人も差別されない

ことを謳った 14 条を肌で感じてもらうのが狙いだ。

そのほか、過去に囚人や朝鮮人、中国人らが過酷な労働に従事させられた場所やその碑などが次々に映し出された。個人の権利が侵されたことを物語る写真に、生徒たちは見入った。

授業のあと、大宮悠さん(17)は「憲法があるから暮らしが守られているということを、身近な風景から感じた。18 歳になると選挙権が与えられるけれど、社会に対する自分の考えが広がったような気がします」。立花あみさん(18)も「ふだん知らない場所で憲法が関係するところがいっぱいあることがわかってよかった。国の代表の人たちが憲法をどう扱っているのか、もっと深く知りたいです」と話した。



その一方ではこんなニュースもありました

「今後の社会教育に生かして」

「九条俳句問題」で市民の検証委が報告書

さいたま市の女性が憲法九条を詠んだ俳句が公民館だよりに掲載されなかった問題で、女性を支援してきた『九条俳句』市民応援団などがつくった検証委員会が報告書をまとめた。近く市や市教育委員会に提出する。掲載を見送った市や公民館の対応を批判し、再発防止を求めている。

この問題では 2014 年に「梅雨空に『九条守れ』の女性デモ」という句が不掲載になったことを巡り、女性が市を提訴。18 年 12 月、市に賠償を命じた最高裁判決が確定した。

「応援団」などは市側に問題を検証する第三者委員会の設置を求めたが、実現しなかった。このため、市民や学識経験者、弁護士ら 10 人で構成する検証委を発足させ調査していた。

報告書は今年1月にまとめ、不掲載から裁判までの経緯を記すとともに、問題点を分析。専門性に欠ける公民館の職員が「住民に対して不公正な取り扱いをしない」という点で初期対応を誤り、市上層部も追認したことで問題が長期化したなどと指摘した。再発防止のため、公民館には「社会教育主事」の有資格者など社会教育の重要性を理解する職員を配置した上、館長の権限を強めるなど、各館の自治運営を尊重すべきと提言した。

2021/2/3 東京新聞



憲法記念日の講演・木村草太さんを2度提案も…

「拒まれて驚いた」と鎌倉市の実行委経験者

2018 年5月の憲法記念日に行われた講演の講師に、憲法学者の木村草太さんを起用するのを「政治的」として拒否した鎌倉市。市の平和事業は、公募市民による「鎌倉平和推進実行委員会」と市の主催で実施されてきたが、市は単独で主催する形に変更し、21 年度は実行委員の公募も取りやめた。委員経験者は「平和のためにやってきた。政治を持ち込んだのは市だ」と憤る。

木村さんを推薦した元委員によると、若い世代の参加者を増やすため、若手の憲法学者として注目され、テレビ出演も多いことから提案したという。「市に拒まれて驚いた」と当時を振り返る。

実行委は木村さんを再度推薦したが、市側は拒否。「講演自体がなくなると困るから、受け入れるしかなかった」と話す。

この直後、市は「主催 鎌倉市・実行委」から「主催 鎌倉市、企画・運営 実行委」に変えた。実行委は「活動内容は変わらない」と説明され、了承したという。19 年度には、市側が実行委に相談せずに「憲法記念日の集い」から「平和の集い」に名称変更し、実行委の批判を受け謝罪する出来事もあった。

市は昨年 11 月、新型コロナウイルスの影響でイベント開催が難しいことや財政難を理由に、21 年度に実行委の公募を休止すると委員に告げた。しかし、一部の平和事業は市単独で続けることから、元委員は「コロナは休止の理由になっていない」と指摘。公募を続けるよう求めて市議会に請願を提出し、今年二月、継続審査になった。

2021/4/30 東京新聞抜粋



「下北の医療を考える会」

むつりハビリテーション病院、民間移譲で下北医療センターへ申し入れ書提出！

「下北の医療を考える会」(目時睦男共同代表)は5月16、25日と役員会を開催し、民間移譲問題が大詰めを迎えている、むつりハビリテーション病院民間委託問題で、5月27日に下北医療センターへ申し入れ書を提出しました。

申し入れ行動はコロナ禍のため、医療センター側との質疑時間を設定することが叶わなかったため郵送対応としました。

申し入れ内容は、地域住民のいのちと暮らしを守る医療体制の構築へ向け、民間移譲に反対する立場から、住民へのヒヤリングもないままにこうした方針に至った経過説明を求めています。また、むつりハビリテーション病院労組の代表の意見などを聞きながら、もし民間移譲となった場合に懸念される点などを質しました。

【申し入れ内容の骨子】

- ① 今まで続けてきた、指定管理者制度を止める判断に至った経緯。
- ② コロナ禍のなか、感染防止対策に支障はないのか。
- ③ 経営を指定管理制度へ移管後、16年間で10億円の市財政負担とされているがその実情について。
- ④ 民間移譲の理由の一つに施設老朽化を挙げているが耐震診断などの結果はどうだったのか。
- ⑤ 民間移譲後、むつ総合病院との関連はどう位置づけるのか。
- ⑥ 廃止予定とされている介護病棟は今後どうなるのか。
- ⑦ 通所リハビリテーション事業はそのまま運営できるのか。
- ⑧ 以前行っていた外来診療は復活できるのか。
- ⑨ 経営環境が厳しいなか、赤字覚悟で移譲を受け入れる民間事業者が存在すると判断した背景は何か。
- ⑩ 移譲条件には10年後、病院継続の制約は無いことから、病院が廃止されるのではないのか。
- ⑪ 市民の安全、安心を言うのであれば、先ず市民に率先して民間移譲について意見を聞くべきではないか。
- ⑫ 現在のスタッフの労働条件などの勤務環境は保証されるのか。
- ⑬ この問題が出て以来、将来の身分に不安を持ち、離職するスタッフの一定数出ていると聞くが実情を把握しているか。



(役員会で挨拶する目時代表)

民間移譲巡る疑問
17項目への回答を
「医療を考える会」が
むつ市長に申し入れ
「むつ下北の医療を考える会」(目時睦男、大山松子共同代表)は27日、むつりハビリテーション病院(むつ市)の民間移譲に関して、市民や職員の不安や疑問をまとめた申し入れ書を、同病院を運営する一部事務組合下北医療センター管理者の宮下宗一郎むつ市長宛てに郵送したと明らかにした。来月15日までの回答を要求したという。

同センターは、同病院で医師確保が難しく財政負担も膨らんでいるとして、民間移譲を進める方針を示し、2022年4月に新たな運営体制に移行することを目指している。

申し入れ書では、管理者が一方的に民間移譲を決めるのではなく、事前に市民の声を聞くべきだ」と指摘。「指定管理者制度をやめ民間移譲をする意義は何か」「廃止予定の介護病棟はどうなるのか」などといった17の疑問への回答を求めた。(松橋広幸)

2021/5/28 ツーリー東北

むつりハビリテーション病院経営移譲参考資料

※下北医療センターホームページより抜粋

むつりハビリテーション病院移譲について

移譲経緯

むつりハビリテーション病院は、国立療養所大湊病院の移譲を受け、むつ下北医師会の協力のもと20年間運営してきました。この間、医師の高齢化に対応するための医師確保は進展せず、施設の老朽化は着実に進み、具体的な対策を講じることができないまま現在に至っています。しかし、この施設は下北医療圏唯一の慢性期医療機関として、民間医療機関が存在しないむつ市西通地区の基幹病院として、必要不可欠な施設であります。このことを大前提に検討し、運営可能な事業者へ病院運営を委ねる、経営移譲を決定しました。病院運営に興味をお持ちの方の応募、問い合わせをお待ちしています。

基本情報

名称	むつりハビリテーション病院
管理運営	一般社団法人むつ下北医師会
所在地	むつ市桜木町13番1号
診療科	内科、リハビリテーション科 ※
病床数	療養病床120床(医療型80、介護型40)
病室	個室18室、2人部屋13室、4人部屋19室
診療日	月曜日～金曜日(8:30～17:30) ※
開設日	平成14年3月1日

※ 現在、一般外来は行っていない

職員数(R2.4.1)

職名	常勤
医師	3
薬剤師	1
診療放射線技師	1
理学療法士	7
作業療法士	5
言語聴覚士	2
管理栄養士	2
看護師	26
准看護師	10
介護福祉士	28
ホームヘルパー	8
事務職員	13
技能職員	3
合計	109

「4・9反核燃の日」活動の取り組み

青森県反核実行委員会の公開質問に RFS 社、東通村、大間町から回答が届きました。

1985 年(昭和 60 年)のこの日、当時の北村青森県知事が県議会の全員協議会で核燃料サイクル施設の推進を表明した4月9日を反核燃の闘いの大きなシンボルとして「反核燃の日」と位置付けて全国レベルの取り組みを青森市で開催してきました。しかし昨年、今年とコロナ禍のため集会は中止となり

ました。しかし実行委員会では青森県、むつ市、大間町、東通村、RFS 社に公開質問状を提出していました。5月 17 日時点で青森県、大間町、東通村、RFS 社から回答を得ております。必ずしも質問に正面から答えているとは思われませんが、取りあえず、RFS 社の回答を掲載しました。(その他は次回掲載)

【RFS 社(リサイクル貯蔵燃料株式会社)への質問と回答】

質問	昨年末、経済産業省と電気事業連合会が、使用済燃料中間貯蔵施設の共用案をむつ市長に示したが、貴職には何の前触れしなかったのか？特に現在は、福島原発事故後に経済的に困窮して東京電力(株)、そして他の電力会社からの支援を受けている日本原子力発電(株)からも、何も連絡がなかったのか？
回答	2021 年 12 月 17 日に当社の親会社である東京電力(株)と日本原子力発電(株)から当社に 連絡がありましたが、経済産業省や電気事業連合会からの説明、連絡などは受けていません。
質問	貴職としては、東京電力(株)と日本原子力発電(株)から、他社の分の使用済燃料の受け入れをお願いすると言われた場合に、これを断ることが出来ますか？
回答	回答 共同利用に関しては何も決まったものはありません。
質問	使用済核燃料中間貯蔵が貯蔵開始された後に東北電力・東通原発と大間原発が運転中に重大事故を起こした場合、中間貯蔵施設の職員は持ち場を離れて避難するべきですか？それとも持ち場を離れないようにすることを取り決めていますか？
回答	施設運営等に必要となる最低限の職員が敷地内に留まることとなります。
質問	貯蔵から 50 年後に元の原子力発電所に返却する場合に、搬出元の電力会社が倒産している可能性があるが、その場合はどこに返却することになるのか？
回答	回答 仮定のお話についての回答は差し控させていただきます。
質問	巨大津波の被害発生の際は容器に安全性の担保を求めるとされていますが、自衛隊三沢基地と米軍三沢基地の戦闘機等が墜落した際とか、大型航空機が墜落した場合には、どのような安全対策が取られることになっていますか？
回答	2001 年の 9.11 同時多発テロを踏まえて、米国および日本では乾式貯蔵容器への航空機の衝突を想定した解析評価が実施されています。さらにドイツでは、軍用機の墜落を考慮した模擬試験が実施されていますが、いずれにおいても乾式貯蔵容器の健全性が確認されており、当社はこれらの評価に基づいた事業を実施してまいります。
質問	過去の社長は一時期 2018 年度内の操業を打ち出し、事業開始に至らないと売り上げが ないとしていました。その後、2021 年度内の操業に一変しましたが、今は 2022 年度内の操業としています。このような貯蔵開始の見直しは、どのような理由で行われたのか？
回答	事業開始までには、「設エ認(設計及び工事の計画の認可)の審査」、「保安規定の審査」があり、その上で「追加工事」、「使用前検査」等、多くのステップがあります。安全性の 確認を徹底して行うという観点から、許認可手続きに関わる国の審査は現時点においても、「設エ認の審査」、「追加工事」等に要する期間を正確に見通すことが、非常に難しい状況にあります。まずは、設エ認の審査終了を全力で取り組むこととし、その上で事業 開始の具体的な目標時期を見極めることとしています。なお、事業開始時期については、暫定的に 2021 年度としております。
質問	貯蔵開始から 50 年後も、使用済燃料を再処理する必要があると信じますか？
回答	国のエネルギー基本計画において、「我が国は、資源の有効利用、高レベル放射性廃棄物の減容化・有害度低減等の観点から、使用済燃料を再処理し、回収されるプルトニウム等を有効利用する核燃料サイクルの推進を基本的方針としている。」と明記されています。この基本計画に基づき原子燃料サイクルは推進されていくものと認識しており、国のエネルギー基本計画の基本的方針のちと、国が主体となり進められていくものと認識しています。
質問	設計及び工事の方法の認可申請の書類の不備が指摘されているが、予定通りに操業できますか。
回答	今後も一層社を挙げて真摯に、かつ全力で取り組んでまいります。

青森県を「核の最終処分場にしないで!」条例制定へ本格的な街頭宣伝が始まりました



六ヶ所村で署名への協力
を呼び掛ける今村氏(中央)

昨年8月に結成された「青森県を高レベル放射性廃棄物最終処分地としない条例」制定をすすめる県民の会」はコロナ禍もあり街頭宣伝活動などは限定的に行われていただけでしたが、5月に入り、六ヶ所村を皮切りに本格的にスタートしました。15 日には尾駸地区、16 日には泊地区を中心に街頭演説と周辺のチラシ配布行動を行いました。コロナ禍のため署名行動はポスティング対応として署名用紙や返信用封筒、リーフレットなどを2日間で約 60 名が県内各地から集まって行動しました。

最終処分拒否条例を
市民団体が署名開始
六ヶ所

高レベル放射性廃棄物の
最終処分場受け入れを拒否
する県条例の制定を目指す
市、市民団体「条例制定を
求める県民の会」は15日、海
外返還のガラス固化体(高
レベル廃棄物)を一時保管
している六ヶ所村で署名活
動を始めた。同会は来月8
月ごろまで県内外に呼び掛
けて署名を募り、同9月の
県議会に署名を添えた請願
を提出する予定。

同会が原子力施設の立地
自治体で署名活動を行うの
は初めて。反原発・反核燃
団体や消費者団体などの関
係者ら40人が同村に集ま
り、各戸にパンフレットと
署名用紙を配った。16日ま
でに約3千部を配布する。

街頭では、村内で反核燃
運動をしている菊川慶子さ
んや県反核実行委員会の今
村修委員長らが「自然豊か
な六ヶ所を『核のこみ』捨
て場にしてはならない」と
訴え、署名への協力を呼び
掛けた。
(加藤景子)

『新しいまちづくりのモデル都市』事業スタート！田名部まちなか地区ウォーカブル推進計画が策定される

むつ市では、2018 年度から 2020 年度までの 3 年間、都市機能の集約と高度化による『アゲハ(夜景)かがやくまちづくり』とした地方再生コンパクトシティの事業を実施してきました。2021 年度から 2023 年度では、従来のコンパクトシティによるまちづくりに加え、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりとしたウォーカブルシティとしたまちづくりを、コロナ禍を踏まえた「新たな日常」への対応を踏まえながら、『オープンスペースとコミュニケーションが紡ぐ多様なまちづくり』として事業を進めるとしています。本事業については、国土交通省から「新しいまちづくり」のモデル都市となっています。

これを踏まえて、都市再生推進法人である**田名部まちづくり株式会社**により、田名部まちなか地区において、ゆとりとにぎわいのある歩きたくなるまちの実現に向けたウォーカブル推

進計画が策定されました。

そしてこの取り組みの一部は国土交通省による「**新しいまちづくりのモデル都市**」に選ばれました。モデル都市に選ばれたのは全国 13 都市で北海道・東北・関東では当市だけ。

具体的には市が進める「むつ下北未来創生キャンパス整備事業」「金谷公園の改修とその周辺施設とのアクセス整備」などの事業で支援が受けられることになります。市では金谷公園を中心に大学キャンパス、むつ総合病院の新病棟整備を予定しています。また、田名部地区では遊休地状態だった代官山公園をアウトドア向けに整備、開放するほか、市営団地の整備などを計画しています。



むつ市中心部にある金谷公園の周辺で進めているまちづくりのイメージ図

田名部まちづくり株式会社とは？

- 《設 立 年 月》2013 年6月
- 《所 在 地》むつ市小川町二丁目11番4号むつ市商工会議所内
- 《主 な 事 業》都市開発に関する企画、調整、設計及びコンサルタント業務を中心にこれに関わる不動産の売買、交換、賃貸、仲介並びに管理運営等、多岐にわたる事業
- 《代表取締役》濱崎 正明

2021/5/2 朝日新聞

「新しいまちづくり」 むつがモデル都市に

国交省選定

むつ市が、国土交通省の「新しいまちづくりのモデル都市」に選ばれた。市中心部にある金谷公園や繁華街がある田名部地区の活性化をめざす。

市都市計画課によると、金谷公園周辺では改修した下北文化会館に青森大学のキャンパスなどを入居させるほか、むつ総合病院の新病棟建設も一体的に行う。

田名部地区では代官山公園にアウトドアを体験できる施設を整備し、老朽化したバスターミナルを福祉機能を持つ施設に建て替えるという。市はこうしたまちづくりを進めることで、3年後には平日の商店街の歩行者を2000人増やし、5年後には市民1人あたりの年間所得を16万円引き上げるとする目標値を掲げている。

新しいまちづくりのモデル都市は、コンパクトなまちづくりや地域の稼ぐ力を向上させる取り組みに対し、国が3年間の補助金を交付する制度。全国24自治体から応募があり、むつ市など13市が選ばれた。むつ市は今年度、一般会計当初予算にコンパクトシティ推進整備事業として2億6604万円、キャンパス整備事業費として6億9798万円を盛り込んでいる。総事業費がまとまり次第、国の補助額も決まるといふ。(安田琢典)

田名部まちづくり株式会社の今年、来年度以降の事業計画と過去の主な事業

令和4年度以降事業計画	下北交通バスターミナル敷地他 利用計画 国土交通省一体型ウォーカブル事業等 補助金対象事業計画
令和3年度事業計画	むつ松木屋1階（スーパーマーケット店舗）改修工事 国土交通省一体型ウォーカブル事業補助金対象事業計画 3月30日 国土交通省一体型ウォーカブル事業補助金対象 内示 4月 1日 国土交通省一体型ウォーカブル事業補助金申請 提出
平成27年度	旧朝日生命建物改修工事 経済産業省地域商業自立促進事業補助金対象事業
平成25年度	田名部駅通り地区調査・分析事業 経済産業省地域中小商業支援事業補助金対象事業



こうしたプランが市財政の足枷にならないよう、そして原子力マネーに依存することのないよう祈ります。

《基本コンセプト:人口減少下でも持続可能な街にする》

【目標1】歩いて暮らせる環境整備を進める

【目標2】歴史的資源を活用した魅力あるまちづくりを進める

青森県むつ市

テーマ:オープンスペースとコミュニケーションが紡ぐ多様なまちづくり



【立地適正化計画】
平成29年2月公表(居住誘導区域)
【都市再生整備計画(滞在快適性向上区域)】
令和3年3月公表

○2つの拠点地域において、Park-PFI制度を活用した「新たな日常」に対応したオープンスペースの充実を中心に、都市再生推進法人による社会福祉施設の整備、イノベーション等の新たな拠点となる大学キャンパス・コワーキングススペースにおける大学や地元企業と地域住民との連携による人材育成の推進等、多様な官民連携の取組によって稼ぐ力の向上及びゆとりと賑わいのある新たな日常のまちを創出する。

ハード事業 ソフト事業

むつ下北未来創生キャンパス整備計画事業

大学×若者×創業者による将来を担う人材育成・確保推進事業
キョウイク教育・共育・今日行く1地域によるまちづくり推進事業

代官山公園整備
代官山公園Park-PFI

社会福祉施設整備
道路整備
民地等のオープン化

○代官山公園整備
Park-PFIにより、コロナ禍において需要が高まっているグラウンディングなどのアウトドアを気軽に体験できる公園づくりを実施。



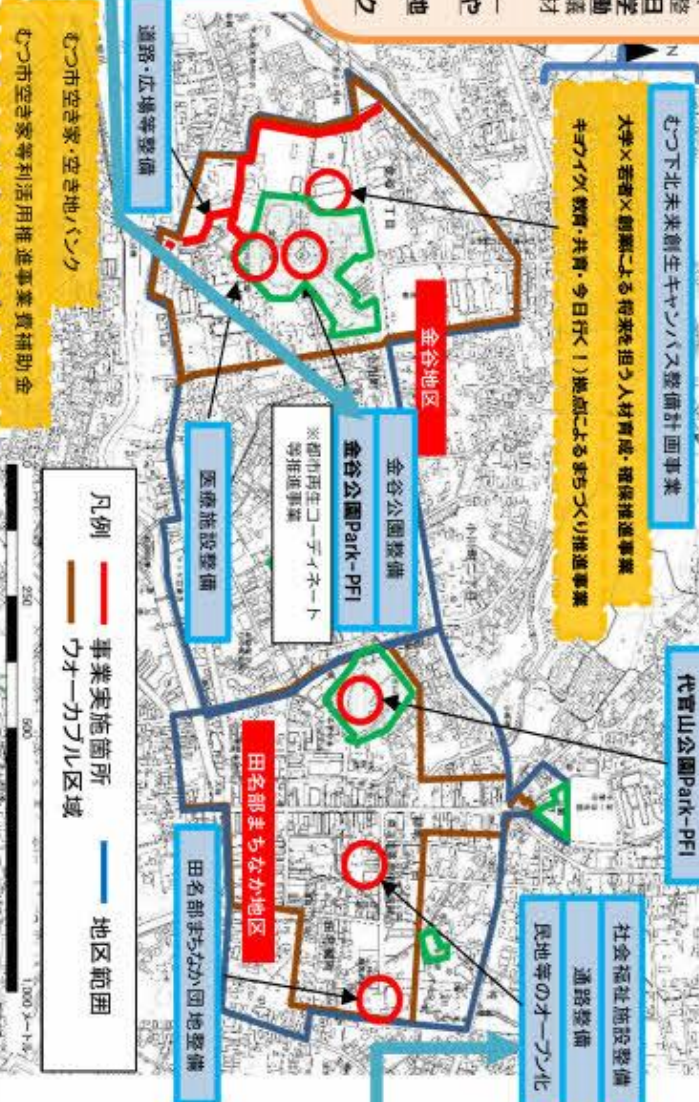
イメージ図

○むつ下北未来創生キャンパス関連事業
学び、交流、大学連携、イノベーションの拠点となる「むつ下北未来創生キャンパス」として地域初の4年制大学の整備、コワーキングススペース等の新たな日常に対応できる環境の整備にあわせ、学校法人や地元企業を中心に産学官協働で設立された「むつ下北未来創造協議会」と大学・大学生との連携による人材の好循環を推進。具体的には、
・地元企業や住民によるフットワークを中心とした、インターンシップやセミナー等の開催
・全年代を対象とした学び直しによる地元雇用創出の機会充実、人材育成
・学生と地域をつなぐ交通ネットワークの形成

○金谷公園Park-PFI
公園の近隣に総合病院があり、平常時にオープンスペースとして公園を利用できるように再整備を実施。



イメージ図



居住誘導区域内の人口密度

3年後も引き続き維持
(従前値) 24.1人/ha (令和2年12月)
→ (目標値) 24.1人/ha (令和5年度末)

平日の商店街歩行者通行量

人口減少に伴う空き店舗の増加により
商店街歩行者通行量を増加基調に
(従前値) 404人/日 (令和2年7月)
→ (目標値) 600人/日 (令和6年7月)

人口1人当たりの市民所得

空き店舗増加に伴う市民所得の減少を
5年後には増加基調に
(従前値) 2,265千円 (令和元年)
→ (目標値) 2,425千円 (令和5年)

下北の鉾山と言え、かつては日本の三大鉾山に数えられた川内の安部城鉾山や現在も活発に操業する尻屋鉾山などが有名ですが、もとと下北地域にはいたるところに金、銀、銅山がありました。また、石炭採坑も東通村で活発に行われていました。かつて一緒に平和活動をしてきたT先生から、『猿ヶ森には坑夫の

子弟のための炭坑小学校もあり、猿ヶ森から田名部駅（現在の赤川駅）までロープウェイで石炭を運搬していた」と話を聞いていました。先日、このことを詳しく知りたくて、インターネットで調べていたら、10年前の東京電力東通原発建設所広報紙「ゆきしろみず」に右の記事が掲載されていました。あらためて下北の奥深さを知りました。

『東通村歴史探訪』 炭鉱あとを歩く

東通村猿ヶ森のトヤ森付近に、昭和18年頃から25年頃まで炭鉱があったことをご存知でしょうか？当時炭鉱に勤めていた方にお話を伺うとともに、実際に現地を歩いて村の歴史にふれてみました。

東通村に実在した下北炭鉱

幻の東通村の炭鉱について話してくれたのは、戦後その炭鉱に勤めていたという野牛地区在住の杉本辰夫さん(86歳)です。

杉本さんが勤めていたのは、戦争から復員してまもなくの昭和20年、22歳のことでした。「炭鉱は、4鉱区ほどあり、各鉱区ごとに親方と呼ばれる石炭を掘る優れた技術者がいました。炭鉱に勤務する人とその家族を合わせると、相当数の人がそこで暮らしていたようです。居住区には、電気屋さん、鍛冶屋さん、精米所などのほか、病院まであったんですよ」

東通村村史によると、昭和23年4月、東通村立下北炭鉱小学校が開校。学級数2、児童数47名、教員2名と記されています。

杉本さんは炭鉱で「主に倉庫番のような仕事を行い、食料、油、資材などの管理をしていました」と話します。

掘った石炭は、索道(ロープウェイ)



炭坑操業当時の石炭運搬の様子

で田名部(現在の赤川駅)まで運んでいました。太いロープには、畳2畳ほどの大きさの運搬具がつられ、その中に掘った石炭を積み込んで田名部まで運搬。途中の蒲野沢には索道の中継所があり、秋田から来た技師が動かしていたそうです。

「炭鉱で働いていた技師はなぜか秋田の人が多かった気がします」と記憶を辿りながら、ゆっくりと話してくれました。

歴史を辿り炭鉱あとを歩く

後日、この話をもとに、今から20年ほど前、炭鉱跡地を訪れたことのある、尻屋幼稚園長の坪正範先生と一緒に、現地を訪ねてみることにしました。

猿ヶ森～野牛をつなぐ道路から山側に入ると程なく薬師堂がありました。

薬師堂から奥へ入ると平坦な場所があり、炭鉱

で働く人々が住んでいた長屋があったようです。

更に少し歩くと、左右に区分するように石垣が積まれた火薬庫跡地がありました。

小高い平地には1戸立ての住宅があったことを証明する土台石が、直線上に並んでいます。「炭鉱会社の所長さんの住宅ではないか」と推測されます。

更に奥へ進むと、坑口と思われる場所へ辿

り着きました。入口は崩れていましたが、中を覗くと、明らかに人的に掘られたような穴があります。その地層には石炭ではないかと思われる、黒く光った地層がありました。

杉本さんは、「坑道は狭く、人が1人か2人入って掘削作業をしていた」と話していたので、大きな坑道ではないようです。

坑口付近には小川が流れ、坪先生は「この小川の流れの変化で、20年ほど前とはこの地形も相当違っている」と話します。

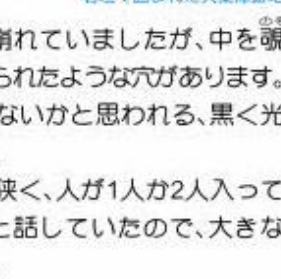
戦時中から戦後、エネルギー資源が採掘されたと推測される東通村。それは時を超えて受け継がれるかのように、今、村内には原子力発電所と風力発電所が建設されています。東通村が昔も今も、日本のエネルギーを支える村であることがわかった歴史探訪でした。



今も残る薬師堂



石垣で囲まれた火薬庫跡地



人的に掘られた形跡



坂場から持ち帰った石炭の原石



坑口と推測される場所

原発やめよう！金曜行動 200 回を超える！

2011年の福島原発事故以来、全国的に取り組まれた「脱原発・金曜行動」は本県では青森市、八戸市、十和田市などで取り組みが始まり、むつ市では2012年11月からスタートしました。行動主体は「下北原発ゼロの会」(核の中間貯蔵はいらない！下北の会、原発核燃をなくす下北の会、新日本婦人の会むつ支部で構成)で、毎月第1、3金曜日マエダ本店前で午後4時(冬季間は3時)から30分程度実施しています。その回数は今年2月で200回を数え、先月末で206回となりました。一日も早くこの行動が不要になる日を願いつつ…

下北原発ゼロの会

